

特別支援学校小学部児童の 登校支援に関する取組

児童の実態

- ・小学部児童

- ・事故や災害、感染症や対人関係による不安から、登校や集団参加に課題がある

教員の願い

友だちとの関わりを増やしてほしい。

友だちと自発的かつ日常的に関わる。



友だちと設定された遊びや活動をペアで取り組む。



すれ違う友だちに自発的に挨拶をする。

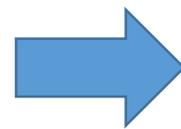


設定された環境で、友だちに挨拶をする。

ここに
アプローチしたい

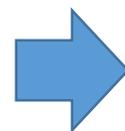
アドバイザーからの助言

9月以降、登校できていない状態なので、まず登校を目指すことが大切！



登校に関する
標的行動に変更する

学校生活で感じた不安やイヤな感情を、学校にいる間に解消することが大切



「ふりかえりシート」を活用し、毎日の帰りの活動で本人の気持ちを把握する

「学校に行く」のABC分析

現状 (Before)

A先行条件

B行動

C結果

自分の部屋でいる状態
(イヤなことが起こるかも
という不安なし)

自分の部屋でいる状態
(コロナにかかる不安なし)

不安について話し合う
担任との約束あり

学校に行く

今後、イヤなことが起こる
不安あり↓

コロナにかかる不安あり↓

解決策が見つかるかも↑

イヤなこと
=急に話しかけられる。ほめられる。
お願いされる。質問される。注目など

事前準備

感染症への不安から、長期間の欠席が続いていたので、毎日の登校は難しい可能性あり。



本人と5日間のうち、登校する日数を相談する。

標的行動①

登校開始日から、登校日5日間のうち3日間以上、登校することができる。

(家庭の送迎に関する事情を除く)

指導手続き(ステップ1)

①登校できた日は、教室に到着後すぐにトークン(登校回数カード)を渡しつつ称賛(カードの言葉+〇回目登校、すばらしい)を行う。

②登校開始日より登校日5日間のうち、3日間登校 →150pを与える。
4日登校→+50p(合計200p)、5日登校 →+100p(合計300p)

③次の5日間も3日間以上登校ができた場合は、ボーナスポイントを与える。

指導手続き(ステップ2)

・登校に関するポイントの見直しを提案をする。

ステップ1 3日間登校→150p、4日→+50p、5日→+100p、合計300p

ステップ2 3日間登校→70p、4日→+50p、5日→+80p、合計200p

「学校に行く」のABC分析

解決策導入後 (After)

A先行条件

イヤなこと起こる不安なし

コロナにかかる不安なし

不安について話し合う
担任との約束あり

獲得できるカードのレア度の設定あり

3日以上の登校を促すポイント設定

継続した登校を促すポイント設定

B行動

3日以上、
登校する

C結果

イヤなことが起こる不安あり↓

コロナにかかる不安あり↓

解決策が見つかるかも↑

3, 4日シルバーカード
5日ゴールドカード↑

3日150P, 4日50P, 5日100P↑

連続登校でボーナスポイントあり↑

登校回数カード



トークン表

登校して、ポイントをゲットしよう◎

2月4	火5	水	3木	/金
		文化の日		
家事都合	家事都合			家事都合

3回登校 → 150P
 4回登校 → 50P(計200P)
 5回登校 → 100P(計300P)

「シルバーすごいよ!」以上を連続で獲得すると、ボーナスPをゲットできるよ

2回連続ゲット → ボーナス20P
 3回連続ゲット → ボーナス40P
 4回連続ゲット → ボーナス70P
 5回連続ゲット → ボーナス100P

「ゴールドヒャッホイ!」を連続で獲得すると、より多くのボーナスPをゲットできるよ

2回連続ゲット → ボーナス50P
 3回連続ゲット → ボーナス100P
 4回連続ゲット → ボーナス150P
 5回連続ゲット → ボーナス200P

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
シルバー (3日以上)	○	○	○									
ゴールド (5日以上)		○	○									

達成基準・中止基準(ステップ1)

(達成)

登校開始日より登校日5日間で、3日間以上登校できた回数が5回連続した場合、達成とする。

(中止)

登校開始日より登校日5日間で、3日間以上登校できなかった回数が2回連続した場合、中止とし指導手続きを変更する。

ステップ2では、1回でも3日以上登校できなかった場合とした。

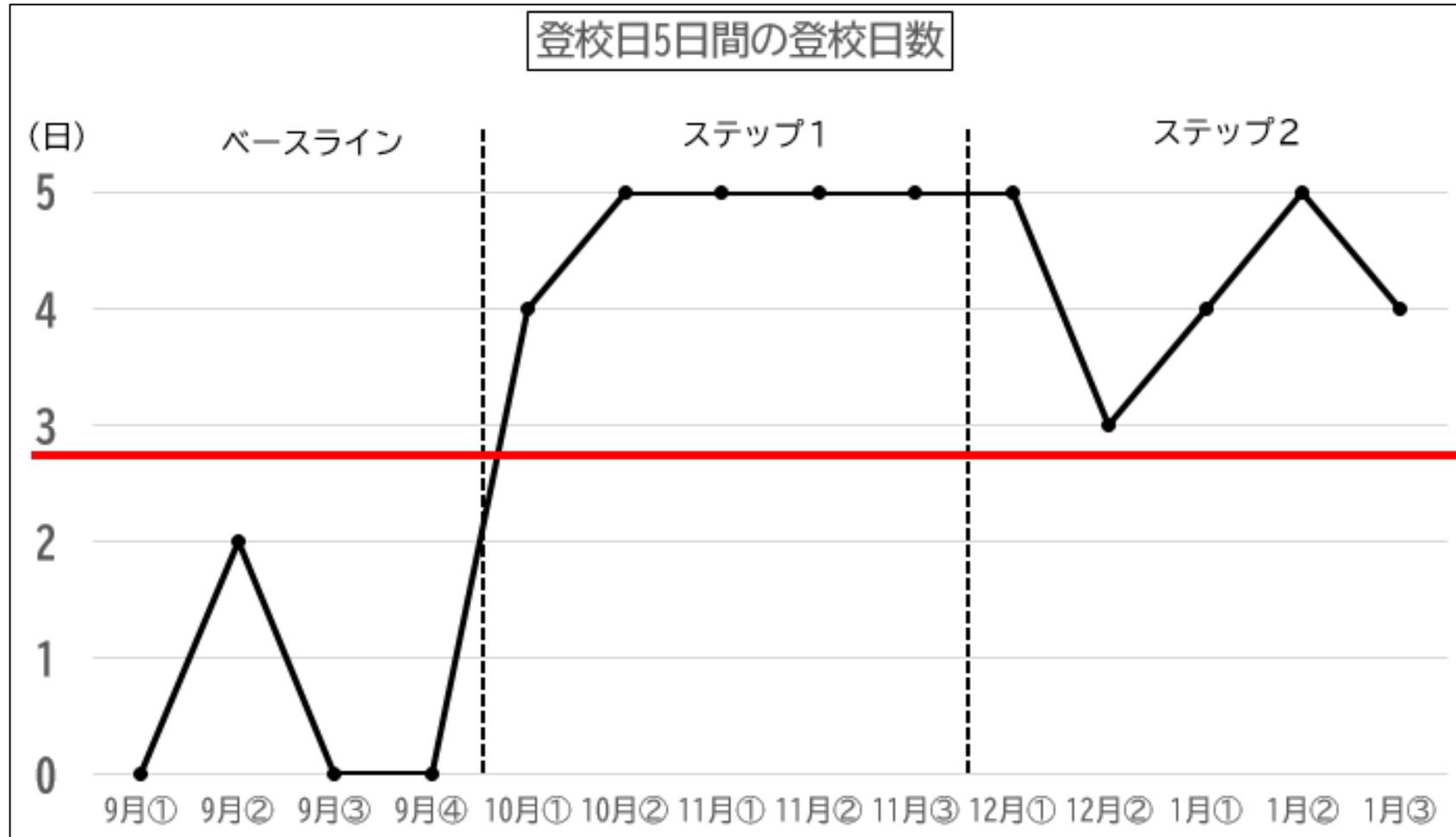
(例)木曜日から登校

	木	金	月(代休)	火	水	木	金	月	火	水	木	金	...
登校日	1	2		3	4	5	1	2	3	4	5	1	

登校開始日

結果

- ・ステップ1では、指導開始日から4日間登校することができた。それ以降は、5日間で5日間登校できた。
- ・ステップ2では、5日間で3日間、4日間の登校があった。本人の登校意欲はあるものの、母が送迎できない日が増えた。母以外の送迎では登校できない日が多かった。



成功のポイント

- ・本人と登校日数について相談し、目標設定を行った。
- ・登校意欲が促されるようなトークンエコノミーシステムの導入。
- ・トークンエコノミーシステムの細かな更新。

課題

- ・母の送迎もしくは、母が車に同乗していなければ、登校できなかった。 →登校のための代替手段の確保。
- ・興味のあるバックアップ好子の準備やそれにかかる費用。

標的行動②

毎日、下校時に「1日ふりかえりシート」を記入することができる

(事前準備)

- ・1日ふりかえりシートを、下校スケジュールに追加することを提案する。
- ・トークンと関連づけることを説明する。
- ・「すこし腹が立った」「すこしいやなことがあった」を選択したときは、「担任との話」が選択できるように設定しておく。
- ・必ず担任に話す必要はないことを伝える。
- ・そのときは、選択肢「予定があるから明日話す」を選べばよいことを伝える。

指導手続き(ステップ1)

- ①下校スケジュールを確認していないときは、言葉かけを行う。
- ②1日ふりかえりシートを担任に持ってきたときは、言語称賛と10ポイントを与える。

ステップ2では5P。ステップ3では1P。

※「すこし腹がたった」「すこしいやなことがあった」に○がついたときは、「何か気になることがあった？」と尋ねる。

達成基準・中止基準(ステップ1)

(達成)

15日間連続で、記入できた場合、達成とする。

(中止)

記入できない日が、3日間続いた場合は、中止し手続きを変更する。

結果

ステップ1、ステップ2、ステップ3において、すべての登校日で記入することができた。

ステップ1(全15日) ポイント10P														
10/14	10/19	10/20	10/21	10/22	10/25	10/26	10/27	10/28	10/29	11/1	11/4	11/8	11/9	11/10
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ステップ2(全15日) ポイント5P														
11/11	11/13	11/18	11/19	11/22	11/24	11/29	11/30	12/1	12/3	12/6	12/7	12/10	12/15	12/17
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

ステップ3(全15日) ポイント1P														
12/21	12/23	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/18	1/19	1/20	1/24	1/25	1/26	1/27	1/28
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

成功のポイント

- 本人の負担が少なく継続して取り組むことができるワークシートを作成した。
- 帰りのスケジュールの1つの活動として取り入れた。
- トークンエコノミーシステムと関連づけを行った。